資料２

西陣を中心とした地域活性化ビジョン
（素案）

目次

第一章　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

一　活性化ビジョン策定の背景と目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
二　活性化ビジョン策定の基本事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第二章　西陣を中心とした地域のポテンシャルと課題　・・4

地域のポテンシャルと課題の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
一　歴史・文化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
二　ひと　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
三　町並み・交通　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
四　産業・商業・賑わい　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
五　ブランド　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

第三章　西陣を中心とした地域の将来像　・・・・・・・・・13

第四章　実現のための１１の方策　・・・・・・・・・・・・14

柱　Ⅰ　歴史・文化を継承する　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
柱　Ⅱ　趣のある町並みに住む　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
柱　Ⅲ　西陣で働き，賑わいを生む　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
活性化の土台　Ⅳ　誇りと憧れの西陣ブランドを確立する　・・・・・・・・27

第五章　実現に向けて　・・・・・・・・・・・・・・・・・30

第一章　はじめに

一　活性化ビジョン策定の背景と目的

西陣を中心とした地域は，西陣織をはじめとした伝統産業や伝統文化・伝統芸能，寺社，花街の文化，歴史的な町並み，商店街，観光スポットなど，多彩な魅力・資源を有している。そして，千年以上にわたり，京都の，そして日本の中心として，伝統をベースに時代ごとの新たな知恵，技術を取り入れて，変革を繰り返して発展を続ける精神で，何度も危機を乗り越えてきた地域である。

平成 29 年は，応仁の乱勃発による「西陣」の呼称発祥から 550 年目の節目に当たり，西陣織工業組合による「西陣 550」の取組や，西陣に対する東陣に着目した「東陣プロジェクト」など，様々な取組が行われた。

また，平成 29 年 3 月には，京都市の「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度において，「北野・西陣でつづられ広がる伝統文化」が最初の認定を受け，地域の多彩な魅力に改めて注目が集まっている。

さらに，国においては，文化庁に期待される新たな政策ニーズ等への対応を含め，文化庁の機能強化を図りつつ，京都に全面的に移転する方針のもと，遅くとも 2021 年度中の本格移転（移転先：現京都府警察本部本館）が目指されると同時に，食文化をはじめとする生活文化など複合領域も文化政策の対象として捉え，文化の力による地方創生が期待されている。

こうした西陣の歴史性，文化性に注目が集まっている機運を捉え，西陣の誇る資源と変革を繰り返して発展を続ける精神を最大限に発揮しつつ，文化を基軸に経済や観光とも融合させながら，新たな西陣の未来を拓くまちづくりを推進し，ひいては，京都全体の活性化につなげるため，西陣を中心とした地域の活性化の指針となるビジョンを策定する。

二　活性化ビジョン策定の基本事項

❖期間　50 年先の将来像を描き，今後 10 年間の取組を具体化

活性化ビジョンでは，概ね 50 年先を見据え，西陣を中心とした地域の大きな将来像を描きながら，目の前の課題に対して今後約 10 年間（平成 30 年度～平成 40 年度）で取り組むべき具体的方策をとりまとめた。

❖対象エリア

「西陣」地域の明確な定義はなく，着眼点や捉え方によって範囲が異なっている。

活性化ビジョンでは，「西陣」の範囲を限定することなく，地域特性を丁寧に踏まえながら活性化の方策に応じて，「西陣を中心とした地域」として柔軟かつ効果的に捉えることとする。

❖ビジョン策定の考え方

●「自分ごと」「みんなごと」で進めるビジョン

本ビジョンは行政施策のみにより活性化を目指すのではなく，地域住民，事業者など地域に関わる幅広い分野の方々との役割分担の下，ひとごとではなく，「自分ごと」「みんなごと」で進めるビジョンとする。

●西陣の活性化から京都全体の活性化へ

西陣を中心とした地域が有する，歴史や文化に培われた多彩な魅力・資源，地域力や人間力を最大限に活かし，未来志向のまちづくりを進めることにより，西陣を中心とした地域の活性化を図り，ひいては京都全体の活性化に繋げていく。

【西陣を中心とした地域の範囲のイメージ】

第二章　西陣を中心とした地域のポテンシャルと課題

❖地域のポテンシャルと課題の概要

	ポテンシャル（資源）	課　題
歴史・文化	○歴史や伝統文化の集積 ○生活に根付いた文化・祭り ○文化庁の全面的移転	●埋もれている歴史や文化の物語 ●暮らしの中で文化に触れる機会の減少
ひと	○活発な地域活動 ○多くの新しい住民と定住意向 ○大学のまち・学生のまち	●地域力低下の懸念
町並み・交通	○京町家や路地，寺社等が集積する歴史的な景観 ○自転車で移動できるコンパクトな地域	●京町家の減少等による歴史的な景観の喪失 ●多くの密集市街地や細街路 ●交通利便性の課題
産業・商業・賑わい	○職住一致・近接の職人のまち ○高い品質と高度な技術力を有する「西陣織」 ○クリエイティブなものづくりを支える伝統と地域性 ○連続する商店街と魅力的な店舗 ○知られていない多彩な地域資源	●職住一致・近接の減少 ●西陣織産業，商業等の低迷 ●地域を支える産業の不在 ●観光客の低い回遊性
ブランド	○西陣のブランド力 ○活用の可能性のある公有地等	●地域全体の魅力，ブランドの発信不足 ●活性化の拠点の不足

一　歴史・文化

ポテンシャル（資源）

○歴史や伝統文化の集積

・平安京から 1200 年以上の歴史があり，その間，内裏や御所が置かれるとともに，室町幕府の花の御所，豊臣秀吉の聚楽第など，政治の中心を担い続けてきた地域である。そのため，西陣織をはじめとした最高級のものづくりが生み出されるとともに，茶道や能・狂言，琳派など，各時代の最先端の文化が花開いた地域である。

・現在でも，歴史ある寺社や門跡寺院，上七軒の花街，多くの文化財があるほか，茶道の三千家や千家十職に名を連ねる職家が所在し，また，金剛能楽堂や河村能舞台があるなど，一流の伝統文化が身近にある地域である。

○生活に根付いた文化・祭り

・京菓子や京料理，仕出し，さらには，忙しい職人の間で広まったとも言われる丼やパンなど，多彩な食文化をはじめ，京町家が伝える住文化，五節句や地蔵盆などの年中行事など，長い年月にわたり人々が生み出し継承してきた生活文化が暮らしに根付いている。

・毎月 25 日の天神さんをはじめ,「西陣の祭」として発展してきた今宮神社の「今宮祭」や，町内安全や子どもの健全育成を願う「地蔵盆」，大報恩寺（千本釈迦堂）の大根焚きなど，個性豊かな年中行事があり，それぞれの季節の風物詩となっている。

【図　行政区別地蔵盆の実施率】

資料：「地蔵盆」に関するアンケート調査（平成 25 年）

○文化庁の全面的移転

・文化庁が遅くとも 2021 年度までに現京都府警察本部本館へ移転することとなっており，それに合わせて機能強化し，国民の多様なニーズに応えることのできる文化行政を積極的に展開することとされている。

課　題

●埋もれている歴史や文化の物語

・豊富な歴史的資源，文化的資源の中で，埋もれてしまい，知られていない物語がたくさんある。

●暮らしの中で文化に触れる機会の減少

・生活スタイルの変化等により，和装を楽しむ機会をはじめ，和食，和室，年中行事など，様々な暮らしの文化に触れる機会が減っており，次世代や新住民への文化継承も難しくなっている。

二　ひと

ポテンシャル（資源）

○活発な地域活動

・番組小学校設立の歴史も含め，学区や町内の自治活動，地域活動が盛んで，濃密な地域コミュニティが形成されており，地域全体で子どもを育てる風土がある。

・学区や町内会等を主体とした地域活動に加えて，まちづくりや歴史，文化振興，福祉など，様々な市民活動が展開されている。

○多くの新しい住民と定住意向

・近年，人口は転入超過が続いており，特に，今出川通や堀川通沿線などで人口が増加している学区がある。人口の４割以上が，居住期間 10 年未満の新しい住民となっている。

・アンケートでは，75％の住民がこの地域で暮らし続けたいと回答している。

【図　居住期間別人口（上京区）】

【図　西陣での定住意向】

※設問：あなたはこの地域で今後も暮らし続けたいと思いますか。（単一回答）

○大学のまち・学生のまち

・エリア周辺には多くの大学が位置しており，上京区では大学生年代（18～22 歳）の割合が京都市全体と比較して突出して高く（10.7％／市内１位），学生が多く住むまちである。

課　題

●地域力低下の懸念

・長期的に高齢化率が増加傾向にあるとともに，エリアの北西部等では人口減少と高齢化が進んでいる。

・学生や若者，事業者などと地域との結びつきが弱い面がある。

三　町並み・交通

ポテンシャル（資源）

○京町家や路地，寺社等が集積する歴史的な景観

・西陣織及び関連業が軒を連ね，地場産業を基盤に京町家を中心とした町並みが形成されている。特に西陣織の職人が多く住んでいた「織屋建」の京町家を多く見ることができる。

・上京区は京町家が市内でも最も多く残っている地域であり，季節に合わせた設えや，機の音など，地域ならではの暮らしぶりを感じることができる。

・歴史的に形成され，西陣に数多くある路地には，多くの京町家が残り，魅力的な景観が形成されている。

・西陣には，千本釈迦堂や北野天満宮，今宮神社等，市内でも有数の古刹，門跡寺院等を有するとともに，これらの参道や門前には，関連の強い町家等が集積する。また，大徳寺や相国寺等，多くの塔頭を抱える大規模な寺社や，日蓮宗の本山等が集積し，これらが一体となった特徴的な歴史的景観が形成されている。

【図　行政区別京町家軒数の推移】

資料：京町家まちづくり調査（平成 20・21 年）
及び京町家まちづくり調査に係る追跡調査（平成 28 年）
※調査対象は戦前に市街化された地域及び旧街道沿い

○自転車で移動できるコンパクトな地域

・エリアの東側を南北に地下鉄が通り，西側には京福電鉄北野白梅町駅が位置するとともに，幹線道路を中心にバス路線が形成されるなど，一定の交通利便性が確保されている。

・エリアは，概ね 3.5～4.0ｋｍ四方の範囲内であり，徒歩や自転車で移動しやすいコンパクトな範囲である。

課　題

●京町家の減少等による歴史的な景観の喪失

・京町家の取り壊しや，建替えが進んでおり，上京区内では，7 年間で 1,209 軒（12.3％）の京町家が滅失するなど，歴史的な町並み景観が失われつつある。

●多くの密集市街地や細街路

・密集市街地や細街路が多く存在し，防災面での課題がある。

●交通利便性の課題

・烏丸通の地下鉄を除けば，交通はバスが中心となっており，観光客や来訪者にとって，また，地域によっては交通利便性に課題があるという意見がある。

四　産業・商業・賑わい

ポテンシャル（資源）

○職住一致・近接の職人のまち

・西陣は西陣織産業を中心に，職住一致・近接の町であり，地域の中で職を中心としたコミュニティが形成されるなど，住民の間には西陣織などのものづくり・職人のまちというイメージがある。

○高い品質と高度な技術力を有する「西陣織」

・西陣では，平安時代に織物を生産する織部司が置かれて以来，高い品質と高度な技術力を活かした高級織物を生産し続けてきた。西陣織は，専門技術を持った各工程の分業制で生産されており，西陣織に関する事業者が集積して，地域の経済を支えてきた。

・長い歴史の中で磨かれた高度な技術やデザイン力・美意識を活かし，新たな分野での活用・展開に向けた取組やチャレンジが行われている。

・20 代，30 代など，若い女性の着物着用の意向が高まっている。

○クリエイティブなものづくりを支える伝統と地域性

・西陣織をはじめとしたものづくりの伝統が息づくとともに，暮らしに根付いた文化や伝統文化など，様々な文化を育むなど，創造の源泉となる資源が豊富に存在しており，そうした地域性に魅かれて，ものづくり事業者や，最先端のロボット企業なども進出している。

・準工業地域に位置付けられており，ものづくりに関して比較的寛容な地域であるとともに，京町家や比較的低家賃の不動産があるため，若手の職人やアーティスト，事業者などが事業を展開しやすい地域である。

・町家スタジオ（H11～），西陣産業創造會舘（西陣ＩＴ路地はH15～），コワーキングスペース（385PLACE（H28～），Impact Hub Kyoto（H28～），タリキチ（H29～）），堀川団地の再整備など，事業者がチャレンジする場，クリエイティブ産業の育成を支える拠点が増えている。

○連続する商店街と魅力的な店舗

・長い歴史と個性ある商店街が多くあり，千本通周辺では連続して立地している。また，地域や文化を支えてきた老舗が数多くある一方，近年，鞍馬口通周辺や路地などに個性的な魅力ある店舗が増えており，徒歩や自転車で巡りながら，見つける楽しみがある。

○知られていない多彩な地域資源

・平安京からは 1200 年以上の歴史があり，北野天満宮など多くの観光客が訪れるスポットだけでなく，上京区内の文化財数は 345 件（市内 4 位）もあるなど，多種多様な歴史文化資源が集積している。また，北野天満宮などの寺社と，マンガやアニメ等のコンテンツとが連携するなど，新しい切り口の取組が行われている。

・工房の見学や着物，西陣織，組み紐，茶道，京菓子など，様々な体験ができる施設がある。

起業支援と地域交流のための施設・町家スタジオ

起業を目指す人や創業間もないベンチャー企業，フリーランスで働く小規模事業主を支援するためのビジネスインキュベーションセンター・西陣産業創造會舘

「アートと交流」を基本テーマに再生事業が進む堀川団地

西陣織企業のビルの空きスペースを活用したコワーキングスペースとシェアオフィス・３８５ＰＬＡＣＥ

課　題

●職住一致・近接の減少

・「自宅で製造業に従業する者の割合」は，平成 2 年には 13.3％であったが，平成 27 年には 3.6％と，大きく減少している。

●西陣織産業，商業等の低迷

・西陣織の総出荷額はピーク時から約 9 割減少するなど，企業数，従業者数とも長期的に減少が続いている。

・エリア内の卸売事業所数は，昭和 55 年と比較して 5 割以上，小売事業所数は 6 割以上減少している。

●地域を支える産業の不在

・西陣織産業に代わり，地域を支える産業が生まれていない。

・他事業者とのつながり，連携が不足している面がある。

●観光客の低い回遊性

・北野天満宮や西陣織会館など，観光客が多く訪れるスポットはあるが，その周辺スポットへの回遊性が低い。

五　ブランド

ポテンシャル（資源）

○西陣のブランド力

・受け継がれ，磨かれてきた歴史・文化，暮らしと町並み，連綿と受け継がれる伝統産業「西陣織」や世界に誇る最先端技術など，個性豊かな資源が集積している。

・この地域で事業を行うメリットとして，「西陣の持つブランド力」，「関連する産業の集積」，「歴史・文化の蓄積，町並み・景観等の周辺環境から，新たな発想が生まれやすい」と考えている事業者が多い。

○活用の可能性のある公有地等

・エリア内には，小学校跡地（元西陣小，元聚楽小，元待賢小）などの公有地や，自然，歴史文化資源が豊富な船岡山など，活用の可能性のある場所が点在している。

課　題

●地域全体の魅力，ブランドの発信不足

・西陣織の産地としてのブランドはあるものの，歴史や文化，町並み，新たな産業展開等も含めた地域全体の魅力発信やブランド化は不十分な面がある。

●活性化の拠点の不足

・地域の活性化の核となる拠点や施設が少ない。

第三章　西陣を中心とした地域の将来像

西陣を中心とした地域の多様なポテンシャルと課題を踏まえ，地域の個性や役割，発展の方向性などを議論し，将来を展望するコンセプトと，概ね５０年後を見据え長期的な見地に立った４つの将来像を設定した。

❖将来を展望するコンセプト

「つながりによる創造」と**「変革によるまちの継承」**

西陣の様々な資源（人，もの，寺社，大学など）をつなぐことで，新たな展開を生み出し，価値を創造する。

西陣のまちを継承し伝統にするためには，様々な変化を生み出し，それを許容する風土が必要。

温故創新・西陣（仮）

❖活性化に向けた将来像

暮らしの中に和の文化が色濃くあり，住民が生活に根付いた文化を体現し，世代を越えて継承しているまち

京町家や路地空間が生活・仕事の場として継承・活用される，落ち着いた町並みの住みやすいまち

住民が自らの住む「西陣」に愛着や誇りをもって暮らし，地域外の人々に訪れたい，住みたいと思われるまち

多様な人々が，地域の中で住み働き，交流する中で，絶えず新たな価値が生み出される，賑わいのあるまち

第四章　実現のための 11 の方策

将来像を実現するため，今後概ね 10 年間を視野に入れ，様々な主体が協力して取り組む 11 つの方策を，３つの柱・土台とともに掲げる。

方策の展開に当たっては，行政だけでなく，市民や地域，団体，事業者など幅広い主体の参加を促すとともに，文化を基軸に様々な分野と連携・融合を図りながら，取組を進める。

❖活性化ビジョンの全体像　３つの柱と土台，１１の方策

：柱や土台，方策を連携・融合させながら取組を進めていく

方策①　暮らしの文化の継承

この地域に移転する文化庁とも連携を図りながら，日々の暮らしの中で受け継がれてきた文化の体現を促し，新住民や次世代を担う子どもたちに世代を越えて継承する。

推進項目

新住民や次世代への暮らしの文化の継承

新しい住民に，地域の一員として文化を体現し，継承してもらうため，年中行事や食文化等を起点にしながら，様々な機会をとらえて暮らしの文化を体験し，自らの文化としてもらえる取組を進める。

地域の子どもたちが，学校や地域コミュニティ，家庭で生活する中で，文化を自然に身につけることができるよう，取組を進める。

取組例

子どものうちから
和装をはじめ和の文化に触れ親しむプロジェクト

和装産業の一大産地であり，また，茶道等の様々な文化が受け継がれてきた西陣において，和装をはじめとした和の文化を率先して振興し，子どものうちから触れ親しむ機会を増やすことで，日常の生活の中に自然に取り入れられる習慣，風土を形成する

（参考）

① 幼稚園，保育園，小中学校等との連携による，着物着用の推進と，茶道，華道など和の文化体験の機会づくり

② 子どもの和装ファッションショー等の開催

方策①　暮らしの文化の継承

文化庁とも連携した暮らしの文化の普及・啓発

文化庁とも連携しながら，食文化，お茶，年中行事など，暮らしの文化の普及・啓発に取り組み，住民が楽しみながら文化を知り，体験できる機会を増やす。

西陣の多様な文化を普及・啓発するイベントを実施するなど，来訪者だけでなく，西陣に暮らす人，働く人がその魅力や価値を実感できる機会を増やす。

取組例

文化庁と地域の連携による文化振興

多彩な文化が集積するこの地域に，生活文化を新たな政策対象として取り組む文化庁が本格移転することを受け，文化庁と地域の連携の形を模索し，文化振興の新たなモデルを形成する。

（参考）

① 文化庁の知見をお借りした，生活文化に関わる講座やイベント等の開催

② 伝統的な祭りや年中行事などを，地域と文化庁職員が共に体験

暮らしの文化や歴史の掘り起こしと再認識

失われつつある暮らしの文化の再評価や，途絶えてしまった祭りの復活など，地域に眠る様々な歴史や文化の「物語」を掘り起こし，資源として活用できるよう再認識する。

方策②　伝統文化・伝統芸能の「ほんもの」の魅力に触れる機会づくり

西陣を中心とした地域は，平安京以来，内裏や御所を中心とした宮中文化が育まれるとともに，花の御所，聚楽第などの政治拠点，多くの寺社，地域に暮らす町衆など，多くの主体が，各時代の最先端の文化を生み出し，継承してきた。西陣に暮らす中で，そうした伝統文化・伝統芸能の「ほんもの」の魅力に触れる機会を創出する。

推進項目

伝統文化・伝統芸能の「ほんもの」の魅力に触れ，体験する機会の増加

日々の暮らしの中では接する機会の少ない，茶道，和歌や能・狂言などの伝統文化・伝統芸能について，その魅力を情報発信するとともに，身近に知り，鑑賞・体験できる機会づくりを進める。

御所・宮中文化の再認識

御所を中心に，暮らしの文化の源流にもつながっている宮中文化が育まれ，公家屋敷や門跡寺院，また，御所御用達の老舗など，歴史的に御所と密接につながる中で発展してきた地域であることを再認識し，地域に暮らす誇りの醸成と，文化継承につなげる。

取組例

宮中文化を源流に，
暮らしに根付いた五節句行事等の実践・継承

宮中文化を源流に持つ五節句行事等にスポットを当て，暮らしに根付いた文化の源流が宮中行事にあることを再発見することで，この地域に暮らす誇りを醸成する。将来的には，平安以来の古式による五節句行事等の復活を目指すなど，日本の伝統的な文化の継承と更なる発展につなげる。

（参考）

① 年中行事の五節句等を市民ぐるみで実践・継承
② 伝統的な五節句等の由来や内容等を啓発する講演会等の開催

方策③　京町家・路地の魅力を活かしたまちづくり

歴史や文化を伝えてきた京町家や路地が，その魅力を再認識され，子どもを育むなどの生活の場として活用されるとともに，新しい建物も含め，落ち着いた町並み，景観が形成されるまちづくりに取り組む。

推進項目

京町家・路地を活用した西陣暮らしの推進

地域の景観や生活文化を象徴する京町家や，通過交通が少なく，地域コミュニティの場でもある路地の魅力を広く情報発信するとともに，子どもを育むことや，ものづくりなど，生活の場として活用されるように取り組む。

織屋建などの京町家の保全・継承

西陣を中心とした地域には，職住一体の織屋建の京町家や織物問屋の表屋造りの京町家，上七軒の茶屋など，西陣らしい風情や魅力を醸し出している京町家が数多く存在している。そうした京町家の魅力発信を行うとともに，「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」（以下，「京町家保全・継承条例」という。）に基づく取組や様々な景観制度も活用しながら，京町家の保全・継承に取り組む。

取組例

京町家を中心とする趣のある町並みの保全・継承

織屋建の京町家や路地など西陣らしい趣のある町並みや，京町家に蓄積されてきた生活における工夫や知恵など生活文化の保全・継承に向けて，「京町家保全・継承条例」に基づく各種取組を進めるとともに，密集市街地・細街路の安全性を高める防災まちづくりや空き家対策など，地域力の強みを活かした総合的な取組を進める。

（参考）

① 京町家保全・継承条例に基づく地区指定・個別指定
② 京町家の維持修繕及び改修に対する助成制度の創設，充実
③ 京町家の継承・流通を促進する環境整備

京町家・路地，寺社等の町並みと調和する景観づくり

京町家や路地，寺社等が集積する西陣において，それらの価値を共有，発信するとともに，良好な状態で保全，活用するための取組を進める。さらに，それらの佇まいと調和する新たな建物を誘導することで，西陣らしい景観づくりを進める。

路地の安全性の向上及び良好な住環境の確保

路地の魅力を活かした取組と合わせて，地域で安心して暮らすため，地域全体の安全性向上を図る解決策について検討・実施する「防災まちづくり」に取り組む。

方策④　楽しく便利に移動できるまちづくり

景観やまちの雰囲気，魅力を，楽しみながら歩くことができるまちづくりや，バスや鉄道等の公共交通の利便性向上をはじめとした交通環境の向上によって便利に移動できるまちづくりに取り組む。

推進項目

楽しみながら歩くことができる環境の整備

住民や来訪者が，まちの雰囲気を楽しみながら歩くことができるように，町並みと調和した道路や，通りの景観や植栽などの雰囲気を整え，歩行者環境の向上に取り組む。

便利に移動できる交通環境づくり

住民や来訪者の利便性向上のため，バスや鉄道等の公共交通アクセスの向上を図るとともに，多様なモビリティの確保に向けた取組を進める。

取組例

快適で便利な移動環境づくり

民間事業者によるシェアサイクルの充実や，ものづくりのまちの特性を活かしたパーソナルモビリティなど新たな交通手段の検討により，快適で便利な移動環境の実現を目指す。

（参考）

① シェアサイクルの拠点の充実

② パーソナルモビリティなど新たな交通手段の検討

方策⑤　西陣織をはじめとした伝統産業の振興

職住近接の歴史の中で形成されてきた西陣織などの伝統産業が，将来にわたって地域で生産され，魅力であり続けるために，住民や消費者とのつながりを強めるとともに，技術を活かした新たな展開を推進する。

推進項目

和装や和の工芸品を暮らしの中で使用する機会づくり

普段から和装に親しみ，身近なものとするため，初心者から上級者まで，様々な場面で着物を着る機会を作り出すとともに，暮らしの中に和の工芸品を取り入れた豊かなライフスタイルを広める。

取組例

着物が普段着のまち・西陣

毎月特定の日を着物で過ごす日とするなど各種取組を進め，地域内外から着物ファンが集まるエリアとしての認知を得るとともに，普段から和装を着る機運の醸成を図る。

（参考）

① 着物を着て西陣エリア内を回遊する方への優待サービスの提供

② 着物で出掛けて写真を撮りたくなるスポットの演出

産地・つくり手と消費者とのつながり強化

西陣織やものづくりに関心のある消費者が，工房等で製作の様子を見学し，体験し，製品を購入できる仕組みづくりを行うなど，国内外の多様な消費者とのつながりを強化する。

西陣織を西陣で生産し続けられる体制づくり

世界に誇る「西陣織」を西陣で生産し続けることができるよう，西陣織工業組合による関連工程等も含めた地域組合を目指す動きなど，分業制の再構築を進めるとともに，次世代へ引き継ぐための担い手育成，西陣織の技術を活かした製品開発等の新たな展開を推進する。

方策⑥　クリエイティブなものづくり産業の創出

ものづくりのまちとしての蓄積を活かし，クリエイティブな人，事業者，アイディアを呼び込み，多様な人が交流する中で，新たなものづくりや，価値創造，起業などを推進する。

推進項目

多様な人，事業者，アイディアの融合による新たな事業創出

地域内の多様な人，事業者等が集まり，アイディアを出し合い交流できる場や仕組みを広げるとともに，この地域での起業や，事業の成長を様々な主体が支えることで，つながりによる新たなものづくりやソーシャルビジネスなど事業の創出を図る。

取組例

ものづくりのまち西陣での
新産業クラスター形成に向けた拠点づくり等

西陣織のものづくりの伝統を踏まえ，ものづくりやデザイン分野に従事する人や若者等が，西陣の地で起業し，また，事業を成長させていく仕組みを，民間の力を最大限活用して構築する。

（参考）

① 工房や機械設備，相談機能など，ものづくり事業者等への支援機能を持った拠点づくり

② 起業や，事業拡充に取り組む人への助言や支援機関への仲介，他事業者とのコラボ等を展開するための仕組みづくり

クリエイティブな人，事業者の呼び込み

西陣がクリエイティブなまちであり，新たな事業創出が図られていることを戦略的に PR することで，クリエイティブな人や事業者を惹きつけ，移住・移転や起業の促進につなげる。

取組例

クリエイティブな人のネットワーク化によるブランドイメージの向上と，更なる交流の促進

西陣における，ものづくりや，創造的な活動をしている人の見える化を行い，それらの人の交流を生み出すことで，クリエイティブなまち，ものづくりのまちとしてのブランドイメージを高めるとともに，国内外のクリエイティブ層を呼び込み，更なる交流を生み出す中で，新たなコラボや，ものづくりの創発につなげる。

（参考）

① ものづくりや創造的な活動をしている人や，活動の場の見える化によるブランドイメージの増進

② それらの人が集まり交流できる場，機会の創出

③ 地域外から新たなクリエイティブ層を呼び込むための情報発信等

多様な働き方の普及

複業，小商い，生活するための仕事と自己実現のための仕事の両立など，多様な働き方を普及させることで，クリエイティブな人材が集まり，能力を発揮できる環境づくりに取り組む。

方策⑦　ターゲット層に応じた商業の活性化

商店街をはじめ魅力的で個性あふれる店舗が地域の中で営まれ，地域コミュニティの核としての役割を果たすとともに，来訪者を惹きつける魅力ある商業の振興を図る。

推進項目

地域コミュニティの核として，ふれあいを大切にする商業の振興

来店者が店主とのコミュニケーションの中で，商品の目利きや暮らしの文化をより深く知ることができるなど，専門店であるがゆえの特性を活かしながら，多くの地域住民が集まり，情報や人の交流を生みだすことで，地域コミュニティの核となる商店街の振興を図る。

取組例

暮らしの文化に出会う地域のお店プロジェクト

食文化をはじめ，暮らしの文化を支える店舗が集積している商店街などにおいて，新住民等が暮らしの文化に出会い，実践し，また，店舗の賑わい創出にもつながるよう，年中行事等に合わせた情報発信等を行う。

（参考）

① 五節句をはじめとした年中行事の機会を捉えた食品や設え等の情報発信

② 関連する店舗の連携による，暮らしの文化の知恵や奥深い物語の紹介

魅力的な店舗の集積

空き店舗と出店希望者とのマッチングなどにより，空き店舗対策に取り組むとともに，アクティブシニア層や若者なども含めた新たな客層を呼び込める魅力的な店舗の集積に向けて取り組む。

周囲の観光スポット等からの来訪者の呼び込み

エリアの中で観光客が多く訪れるスポットと周辺の商店街等が連携し，観光客を商店街に呼び込む取組を推進する。

方策⑧　「ほんもの」に触れる観光の推進

一定期間滞在しながら，西陣が歴史的に形成し，継承してきた文化や産業などの「ほんもの」の魅力を知り，体験し，感じられる観光により，住民の生活とも調和し，観光客にも満足度の高い観光を推進する。

推進項目

文化やものづくり等，西陣ならではの体験型観光の充実

世界に誇る西陣織をはじめ，様々な伝統産業，ものづくりの体験や，お茶や京菓子，花街，京町家などの文化体験など，西陣ならではの様々な体験が可能な施設を増加させるとともに，それらの情報をまとめて効果的に発信することで，満足度の高い体験型観光の充実を図る。

取組例

上質な滞在型の観光による地域経済の活性化

西陣ならではの奥深い歴史や文化，ものづくり等の魅力が存分に感じられる上質な観光メニューを造成し，滞在型の観光客を呼び込み，地域経済の活性化につなげる。

（参考）

① テーマを設定し，地域の「ほんもの」の魅力を体験，体感，購入できる観光メニューの造成

② 西陣織の産地である西陣で着物を購入できる機会づくり

③ 寺社，商店街，事業者，大学等，西陣の関係者によるネットワークの形成

エリア内の回遊性向上

エリア内の観光施設，商店街，宿泊施設等の連携の強化を図るとともに，物語性を持ったガイドツアーや周辺マップ，アプリ等も活用することで，エリア内を回遊しながら西陣の魅力を感じる観光を推進する。

寺社等での新たな魅力発信

地域内には多数の寺社が点在しており，それぞれが歴史的由緒や貴重な文化財を所有しているが，知られていない場合も多いことから，座禅や宿坊体験，新たな切り口やテーマ性を持った文化財の公開など，寺社の資源を活かした魅力発信に取り組む。

方策⑨　西陣の魅力発信，ブランド化

西陣に関わる様々なコトやモノを「西陣」ブランドとして明確化し，地域内外にその魅力と情報を発信する。

推進項目

西陣の魅力発信，ブランド化

西陣は，西陣織の産地としてのブランドはもちろん，歴史や文化，町並み，新たな産業展開など，多彩な魅力を持つ地域であり，それらの魅力を国内外に向けて戦略的に発信し，ブランド化することで，多くの人を惹きつけ，移住や観光等に結びつけるとともに，地域に暮らす住民の誇りの形成につなげる。

取組例

「西陣ブランド」を担うネットワークづくりと戦略的情報発信

西陣で暮らし，働き，まちづくりを行うキーパーソンを集め，新たな「西陣ブランド」の構築に向けたネットワークを形成するとともに，地域の魅力と情報を戦略的に発信する。

（参考）

① 各分野・地域で形成される“つながり”を，さらに大きくつなぎ合わせるネットワークの形成

② エリアに居住する若者等による，SNS 等を通じた西陣の魅力発信

方策⑩　公有地等の有効活用

エリア内にある小学校跡地をはじめとした公有地や施設，さらには民有地について，活性化に資する活用を検討する。

推進項目

公有地等の有効活用

エリア内にある小学校跡地（元西陣小学校，元聚楽小学校，元待賢小学校）をはじめとする公有地等について，地域の意向等にも配慮しながら，活性化に資する活用を検討するとともに，公園等の施設について，更なる魅力創出に向けた活用を図る。

取組例

船岡山を活かした魅力スポットの創出

平安京の北（玄武）に位置し，西陣一帯を見渡せる船岡山について，地域住民に一層愛され，地域の誇りとなる公園を目指すとともに，船岡山やその周辺エリアのさらなる魅力向上を図り，地域住民はもとより，観光客にも親しまれる魅力的なスポットを創出する。

（参考）

① 眺望景観の復活や季節感のある植栽実施を含め，地域に愛される船岡山公園づくりの推進

② 船岡山の歴史的価値の発信など，周辺エリアも含めた更なる魅力向上

方策⑪　活性化の新たな担い手創出

活性化の主体となる新たな担い手を掘り起こすとともに，様々な取組主体をつなぐゆるやかなネットワークを形成する。

推進項目

活性化の新たな担い手創出

エリア内で展開されている多彩な取組の継承と，さらなる発展を図るため，これまで関わりが少なかった層（学生，若手，地域で働く人，外国人，寺社など）を掘り起こし，積極的に地域に関わることのできる機会や仕組みを設けるなど，新たな担い手を創出するとともに，推進主体間のゆるやかなネットワークを形成しながら，活性化を進める。

取組例

学生，留学生等が西陣で学び交流するプロジェクト

「大学のまち・学生のまち」の地域性を活かし，大学のゼミ等が地域等と連携して課題解決に取り組むとともに，学生，留学生等が地域の住民等と交流することにより，学生等の人間力の涵養と，地域の活力ある賑わいの創出につなげる。

（参考）

① 学生のアイディア・行動力と大学の知を活用し，地域等の課題解決を目指す取組の実施

② 留学生等が地域住民と交流し，地域の生活文化・慣習等に馴染むための取組の実施

③ 学生が，西陣織をはじめとした伝統工芸の職人と語るなど，将来の選択肢としての伝統工芸に出会う機会の創出

第五章　実現に向けて

❖市民，事業者，大学，行政等の協働によるまちづくり

地域の活性化を着実に進めていくためには，将来に向けた目標を，まちづくりの主体となる市民，事業者，大学，行政等が共有し，適切な役割分担のもとに，それぞれが，ひとごとではなく，「自分ごと」「みんなごと」として，協働によるまちづくりを進める必要がある。

これまで地域で形成されてきた分野ごと，あるいは地域ごと等の推進体制を発展させながら，それらの推進主体をゆるやかにネットワーク化することで，情報共有と全体の進捗状況を確認しながら，連携，融合による活性化に向けた取組を推進していく。